

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	火山砂防事業		路河川名等	(砂)長久保沢(ながくぼさわ)	
事業毎の通番	2	市町村名	下諏訪町	箇所名(ふりがな)	北高木(きたたかぎ)
事業目的	長久保沢は土石流危険渓流であり、下諏訪町役場の東2.5km付近に位置し、下流域には重要交通網である国道20号とJR中央本線が通る。近年災害はないが、豪雨時には山道が川のように山が荒れ、整備に地元は苦慮している。また、保全対象として、人家201戸、集会所、災害時要配慮者利用施設2箇所、建設中の国道20号BPが存在する。したがって、土石流発生時には大きな被害や影響を及ぼす危険がある。砂防堰堤を1基整備し、土砂災害を未然に防止する。				
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	砂防法	
関連する事業、計画等	国道20号BP関連				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	グレイスフル下諏訪【要配慮者利用施設(24h)】、高木公民館、高木運動公園【地域防災計画に記載の避難所】、国道20号【第一次緊急輸送路】、人家201戸、JR中央本線、町道				
着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	66.6	国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			450,000	247,500 182,250 20,250
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	災害時要配慮者利用施設の保全、重要交通網の保全、避難所の保全 土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域の解消			
	間接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域の指定が解除される 避難所を保全することで、じゅうみんの安全を確保する			
評価の視点	必要性	【保全時人家戸数】 人家201戸 【保全公共施設】 高木公民館、高木区老人集会所、国道20号、JR中央本線 【保全災害時要配慮者利用施設】 グレイスフル下諏訪 【避難場所】 高木公民館、高木運動公園	評価	A	
	重要性	【災害履歴】 なし 【交通影響】 国道20号、JR中央本線 【位置づけ】 長野県地域防災計画、下諏訪町地域防災計画	評価	B	
	効率性	【費用対効果】 B/C=66.6 【早期効果発現】 事業期間7年 【工法等比較検討】 堰堤配置、形式等について比較検討 【総合調整】 国道20号BP事業と調整中、保安林がないことを林務課に確認済み	評価	A	
	緊急性	【地形地質】 地質が脆弱(風化岩地帯 第三紀層、第四紀層) 【地域植生】 倒木が多数 【平均渓床勾配・土砂整備率】 勾配15.1° 整備率0% 【危険区域】 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域あり(D-04-361-047)	評価	A	
	計画熟度	【情報共有】 下諏訪町に事業を説明 【地域要望】 下諏訪町役場および地域住民や市町村より事業計画に対し要望あり 【地域合意】 下諏訪町役場および地域住民や市町村より事業計画に対し要望あり 【住民参加】 平成28年度に、地区防災マップを作成(第5区)	評価	B	
	所管課意見	当該渓流の保全対象には重要な交通網である20号及び地域防災計画に位置づけられている避難施設、避難所が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。	採択状況	総合評価	○ A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。				

位置図			下流域状況		
保全対象	<p>① 保全対象 グレイスフル下諏訪(24h)</p>  <p>④ 保全対象 国道20号・JR中央本線</p> 		事業概要説明図表		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	下流域には宅地が集中し、JR中央本線、第一次緊急輸送路である国道20号が通っている。また、要配慮者利用施設や避難所が位置するため、速やかな土砂災害対策が必要となっている。長久保沢には、不安定な渓床堆積物と倒木が多く、降雨による土砂流出の危険性が高く、地元要望も強い。			
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	①の背景に加え、隣接する大沢川において砂防堰堤工事が進められていることもあり、下諏訪町及び地元地区より事業の要望を受けている。なお、警戒区域内にある第5区においては、平成28年度に地区防災マップを作成するなど、積極的な取り組みがあり、防災意識が高い地域である。			
	③事業説明等の経緯	平成13年度に長久保沢において砂防堰堤の詳細設計を実施。しかし、区長より同意が得られないため、事業を断念した。その後、地元受け入れが整ったことから、下諏訪町を通して事業実施の要望を受けている。平成29年12月調査について地元関係者に通知。事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定。			
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	国道20号バイパス工事予定地。 平成28年度に、地区防災マップを作成(第5区)。 諏訪地域振興局林務課に保安林の指定状況を確認し、保安林の指定はなかった。			
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	長久保沢は流域面積が比較的大きく、渓床幅も大きい渓流である。渓床勾配は比較的急である。渓床堆積物の表面形状は水平で、植生は草本あるいは高木が主体をなす。堆積物はやや厚く、粒径は主に砂泥である。周辺環境への影響を抑えることも観点に、設計・工法等の検討を行う予定。			
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、長久保沢の安全度が高まり民生の安定が図られ、地域防災力の向上が期待される。			
	⑦その他	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域あり(D-04-361-047)	事業代表地点の緯度経度	北緯: N 36° 04' 02" 東経: E 138° 06' 27"	